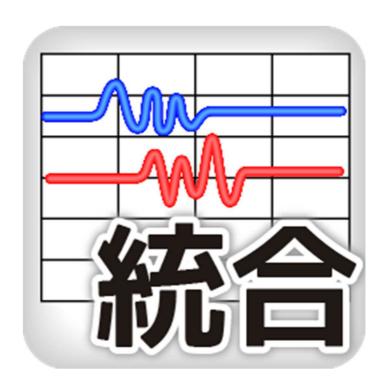
# 統合計測システム

# 取扱説明書



# はじめに

このたびは、テック技販の製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。 この取扱説明書をよくお読みいただき、十分にご理解の上、正しくご使用ください。 この取扱説明書には、ソフトウェアに関する取り扱い方法が記載してあります。

- Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
   その他、本書に記載した会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本製品、本書の一部または全部を無断で複写、複製することは禁止します。
- 本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。

## ご注意

ソフトウェアを使用中には電源をOFFにしたり、ケーブルを抜いたりしないでください。

# 目 次

はじめに	1
目 次	2
本書の表記について	3
第1章 概 要	4
第2章 インストール	5
2-1 ドライバ・インストール方法	5
2-2 ソフトウェア・インストール方法	6
第3章 ソフトウェア使用方法	7
3-1 ソフトウェア起動	7
3-2 使用デバイスの選択	7
3-3 ソフトウェアの構成	8
3-4 計測画面	9
3-4-1 グラフ画面	9
3-4-2 CSV 変換画面	
3-4-3 地磁気センサ校正画面	11
3-5 並び順設定画面	12
3-6 設定画面	13
3-6-1 試験条件	13
3 - 6 - 2 MCS	14
3 - 6 - 3 GDA	15
3 - 6 - 4 M3D-EL-TM/FP	16
3 - 6 - 5 PDL	17
3 - 6 - 6 IMS-SD	18
3 - 6 - 7 DMA-03	19
3-6-8 フォースプレート	20
3 - 6 - 9 PDL-06-SA	21
3-6-10 動作推定システム	22
3-6-11 その他	22
第4章 計測手順	23
第5章 計測データフォーマット	24

# 本書の表記について

### ● 引用句について

パネル面に表記されているキースイッチ等の名称や、ディスプレイに表示されているメニュー項目は [ ] で 囲っています。 (例). [OK]ボタン

## ● 注意事項について

取り扱いにあたって特に注意していただきたい事項について下記のような喚起する表記を行っています。 (例).

ご注意

取り扱い上、特に注意が必要な内容を記載します。

≪ご注意≫ 取り扱い上、特に注意が必要な内容を赤文字で記載します。

### ● 省略表記について

説明にあたって、以下の言葉や外来語で一般的に通用している言葉(パーソナルコンピュータ→パソコンなど)を 省略語表記を使用します。

# 第1章 概 要

本書は、統合計測システムのソフトウェアの取扱説明書です。

本ソフトウェアでは、MotionConnectSystem を 1 台、GDA-24 を 1 台、M3D-EL-TM を 2 台、M3D-EL-FP を 4 台、IMS-SD を 14 台、PDL-06 を 2 台、DMA-03 を 10 台、DPA-06 を 12 台、フォースプレートを 20 台、PDL-06-SA を 10 台、動作推定システムを 10 台リアルタイムにモニタリング及び計測を行うことができます。

計測データは、CSV 形式で保存することができます。

# 第2章 インストール

本ソフトウェアを使用する前に、USB デバイスドライバとソフトウェアの 2 種類のインストールが必要となります。

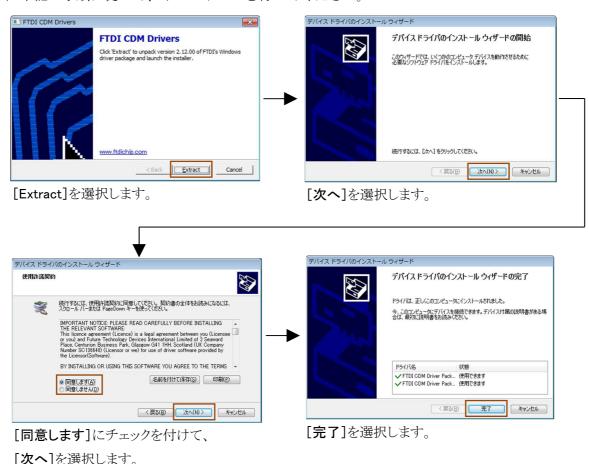
## 2-1 ドライバ・インストール方法

使用するパソコンに USB ドライバがインストールされていない場合に限り、ドライバをインストールする必要があります。

下記手順前に、インストール CD をディスクドライブへ挿入してから進めてください。

#### ≪ご注意≫ この時点では、本体とパソコン間を Bluetooth モジュールで接続しないでください。

- (1) インストール CD の[USB Driver]フォルダ内の[CDMxxxxx\_Setup.exe]を右クリックして、 [**管理者として実行**]を選択します。
- (2) 下記の手順に従って、インストールを行ってください。



(3) ドライバのインストールが終了しましたら、パソコンとデバイスを接続して電源を投入してください。ワイヤレスデバイスの場合は USB ドングルをパソコンに接続し、デバイスの電源を投入してください。

≪ご注意≫ 本体とパソコンを接続しなければインストールは完了しません。

# 2-2 ソフトウェア・インストール方法

# ≪ご注意≫ 必ず、ソフトウェアのインストールの前に、USBドライバのインストールを行ってください。

ソフトウェアのインストールは、インストール  ${
m CD}$  内にある ${
m [setup.exe]}$  を実行します。

[setup.exe]を実行すると下記画面が表示されますので、[次へ]をクリックしてインストールを 進めてください。



# 第3章 ソフトウェア使用方法

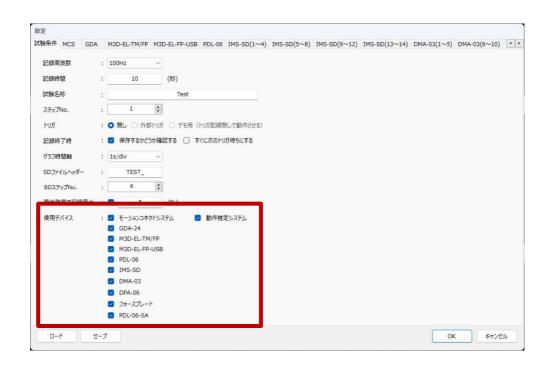
## 3-1 ソフトウェア起動

デスクトップ上に作成されたアイコンをダブルクリックして本ソフトウェアを起動します。 起動するとパソコンに接続されているデバイスを自動で認識し接続処理を開始します。 起動時に接続に失敗した場合は、デバイスの接続を確認し、[ 再接続 ]ボタンを押してください。



# 3-2 使用デバイスの選択

本ソフトウェアでは、MotionConnectSystem、GDA-24、M3D-EL-TM/FP、PDL-06、IMS-SD、DMA-03、フォースプレート、PDL-06-SA、動作推定システムを同時に使用することができますが、初回インストール直後は MotionConnectSystem のみ使用できる設定となっていますので、[ 設定 ] > [ 試験条件 ] > [ 使用デバイス ]で、使用するデバイスを選択してください。選択後はソフトウェアの再起動が必要です。



# 3-3 ソフトウェアの構成

本ソフトウェアは下記の画面より構成されます。

- 計測画面・・・・・・・・・・データの記録、保存を行う画面
- 並び順設定画面・・・・・・・センサ並び順、名称を設定する画面
- 設定画面・・・・・・・・・・・試験条件を設定する画面

### <計測画面>



### <並び順設定画面>



#### <設定画面>



# 3-4 計測画面

# 3-4-1 グラフ画面



● [ 再接続 ] : デバイス接続処理を行います

● [並び順変更] : 並び順設定画面を表示します

● [ 設定 ] : 設定画面を表示します

● [ ゼロ調整 ] : ひずみアンプのゼロ調整を行います

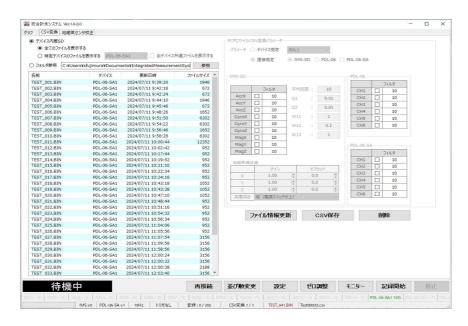
● [モニター] :モニタリングを開始します

● [ 記録開始 ] : 記録開始します

● [停止] : モニタリング、記録を停止します

● [ポーズ] : 波形を停止します

## 3-4-2 CSV 変換画面



ワイヤレスデバイス内蔵 SD へ記録したデータを CSV 変換するための画面です PDL-06、IMS-SD、PDL-06-SA を使用する設定の場合のみ表示されます ファイル表示部の[名前]、[デバイス]、[更新日時]、[ファイルサイズ]をクリックすると当該項目で昇順/降順並び替えを行います。ファイルは同時に複数選択可能です

● [デバイス内蔵 SD] : デバイス内蔵 SD 内ファイルを表示します

全てのファイル… :接続済み全デバイスのファイルを表示します

▶ 特定デバイスの… :特定デバイス内ファイルを表示します

♦ 全デバイス… : 共通ファイルのみを表示します

● [フォルダ参照] : PC に保存したデータを表示します

● [ファイル情報更新] :ファイルリストを最新の状態に更新します

● [CSV 保存] : 選択されたデータを CSV 変換します

全デバイス共通ファイル表示時は全デバイスの同名ファイルに

対して処理を行います

● [削除] : 選択されたデータを削除します

全デバイス共通ファイル表示時は全デバイスの同名ファイルに

対して処理を行います

PC 内ファイル CSV 変換パラメータ

● [デバイス指定] : 指定されたデバイスのデータとして変換します

● 直接指定 :変換時のパラメータを下表で指定します

デバイス種別を選択する必要があります

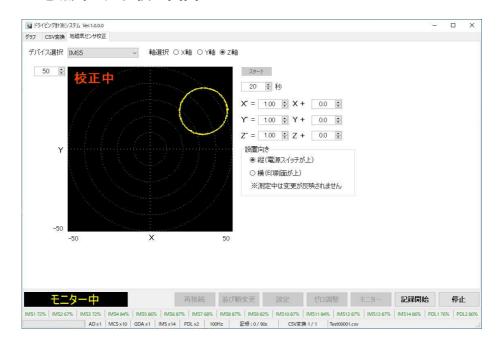
フィルタ : フィルタを使用するかとカットオフ周波数を指定します

▶ 平均回数、Q1… : 姿勢算出用パラメータです

▶ 地磁気補正値 : 地磁気センサ校正画面で求めるパラメータです

▶ 設置向き : 姿勢の基準向き (ロール、ピッチとも 0deg) を指定します

# 3-4-3 地磁気センサ校正画面



地磁気センサを使用場所に合わせて校正するための画面です

IMS-SD を使用する設定の場合のみ表示されます

IMS-SD の地磁気センサを用いてセンサのヨー角を求める場合に使用します

● [デバイス選択] : 校正するデバイスを選択します

● [軸選択] : 校正する軸を選択します

● [スタート] : 校正を開始します

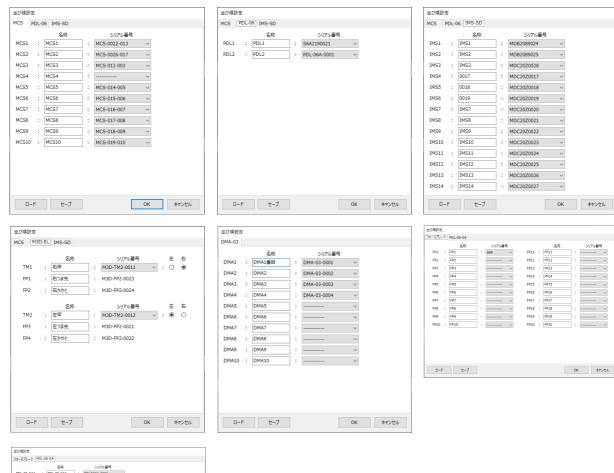
先にモニタリング開始する必要があります

● [秒]指定 : 校正時間を秒で指定します

● ゲイン、オフセット指定:グラフ上の円が中心で真円となるように調整します

● 設置向き : 姿勢の基準向き (ロール、ピッチとも Odeg) を指定します

# 3-5 並び順設定画面



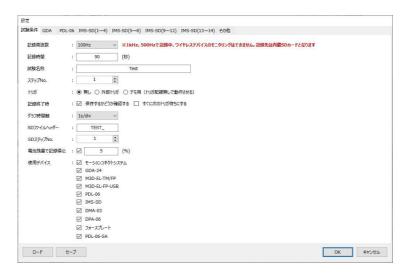
センサの並び順、名称を設定します

M3D-EL-TM/FP の場合は、左右も選択します

[ロード]、[セーブ]で、設定内容をファイルから読み込み、ファイルに記録することができます

#### 3-6 設定画面

## 3-6-1 試験条件



● 記録周波数 :記録する周波数を選択します

ワイヤレスデバイス (PDL-06、IMS-SD、PDL-06-SA) については、100Hz 以下では PC 保存、500Hz/1kHz では SD 保存となります。SD 保存の周波数選択時でもモニタリングは可能です。

動作推定システム接続時は 100Hz 固定となります。

● 記録時間 :記録が自動で停止する時間を設定します

● 試験名称 : 試験名称を設定します

CSVファイル名の前半部分になります

● ステップ No. : 試験名称の後半部分になります

CSV 作成のたびに1ずつ増加します

● トリガ : 記録開始時に外部トリガを使用するかどうかを設定します

➤ 無し :外部トリガを使用しません(トリガ配線が必要)

▶ 外部トリガ :外部トリガを使用します(トリガ配線が必要)

▶ デモ用 :外部トリガを使用しません(トリガ配線が不要)

● 記録終了時 : 記録終了時に保存確認するかどうかを設定します

● すぐに次のトリガ… :記録終了後、自動的にトリガ待ちにするかどうかを設定します

※外部トリガの時のみ有効

● グラフ時間軸 : グラフの1マスを何秒にするかを設定します

● SD ファイルヘッダー : SD 保存するときのファイル名の前半を設定します

● SD ステップ No. : SD 保存するときのファイル名の後半部分になります

ファイル作成のたびに1ずつ増加します

● 電池残量で記録停止 :SD 保存中の電池残量低下時に自動記録停止機能を使用するか

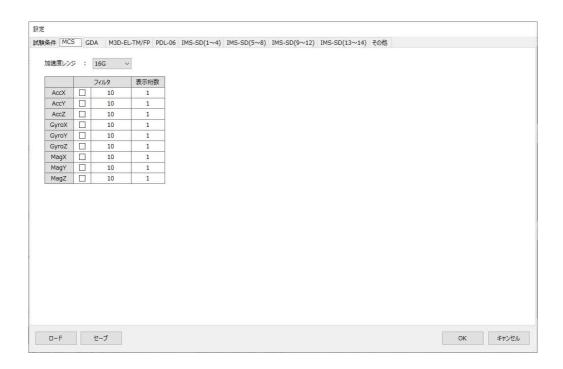
どうかと停止する電池残量を設定します

● 使用デバイス : 使用するデバイスを設定します

● [ロード] : 設定内容をファイルから読み込みます

● 「セーブ 」 : 設定内容をファイルに記録します

# 3 - 6 - 2 MCS



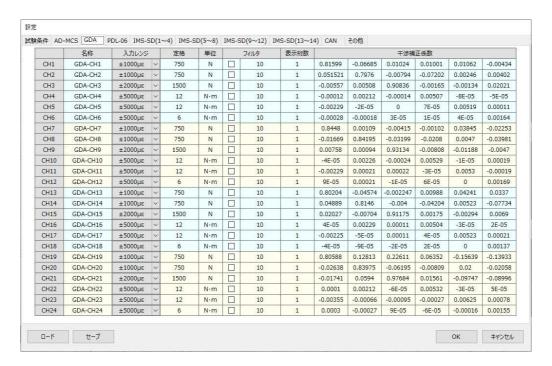
# MCS (モーションコネクトシステム)

● 加速度レンジ : 加速度センサのレンジを設定します

● フィルタ : フィルタを使用するかとカットオフ周波数を指定します

● 表示桁数 : グラフ表示画面での数値表示の小数点以下桁数を設定します

### 3 - 6 - 3 GDA



● 名称 : チャンネル名称を設定します

● 入力レンジ : 入力レンジ(ひずみ)を設定します

定格 : アナログ出力 10V 時の工学値を設定します

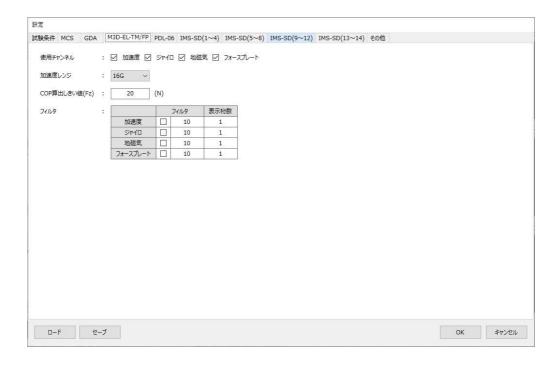
単位 : 工学値の単位を設定します

● フィルタ : フィルタを使用するかとカットオフ周波数を指定します

● 表示桁数 : グラフ表示画面での数値表示の小数点以下桁数を設定します

● 干渉補正係数 : 干渉補正係数を設定します

# 3-6-4 M3D-EL-TM/FP



● 使用チャンネル : 使用するチャンネルを設定します

M3D-EL-TM/FP 共通設定です

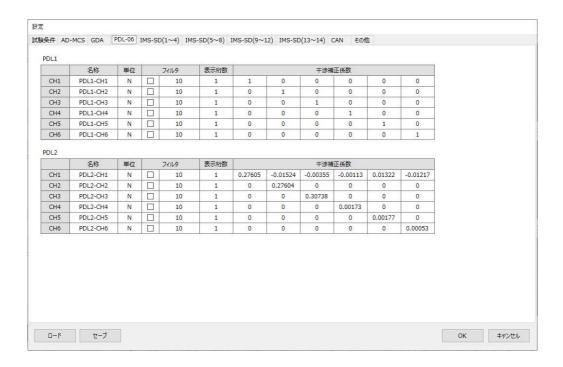
● 加速度レンジ : 加速度センサレンジを設定します

● COP 算出しきい値(Fz) : COP を算出する最低 Fz を設定します

● フィルタ : フィルタを使用するかとカットオフ周波数を指定します

● 表示桁数 : グラフ表示画面での数値表示の小数点以下桁数を設定します

## 3-6-5 PDL



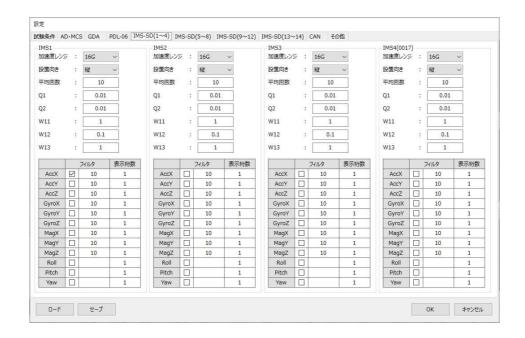
● 名称 : チャンネル名称を設定します● 単位 : 工学値の単位を設定します

● フィルタ : フィルタを使用するかとカットオフ周波数を指定します

● 表示桁数 : グラフ表示画面での数値表示の小数点以下桁数を設定します

● 干渉補正係数 : 干渉補正係数を設定します

#### 3 - 6 - 6 IMS-SD



● 加速度レンジ : 加速度センサのレンジを設定します

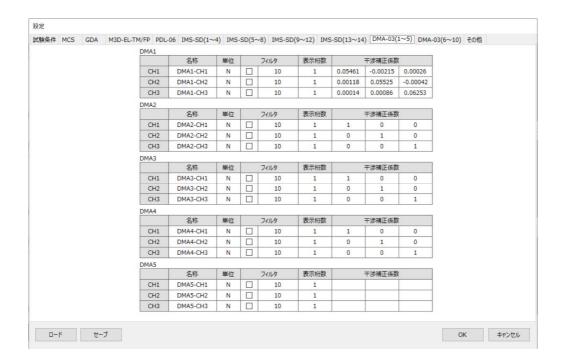
● 設置向き : 姿勢の基準向き (ロール、ピッチとも Odeg) を指定します

● 平均回数、Q1、Q2… : 姿勢算出用パラメータです

● フィルタ : フィルタを使用するかとカットオフ周波数を指定します

● 表示桁数 : グラフ表示画面での数値表示の小数点以下桁数を設定します

## 3 - 6 - 7 DMA-03



● 名称 :チャンネル名称を設定します

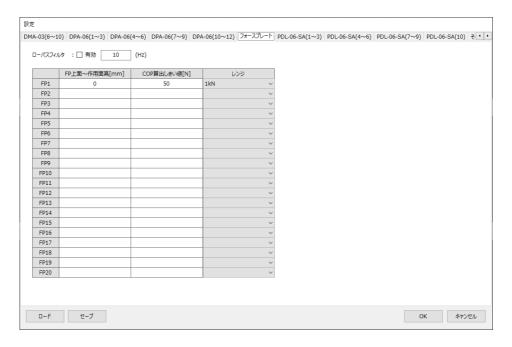
● 単位 : 工学値の単位を設定します

● フィルタ :フィルタを使用するかとカットオフ周波数を指定します

● 表示桁数 : グラフ表示画面での数値表示の小数点以下桁数を設定します

● 干渉補正係数 : 干渉補正係数を設定します

# 3-6-8 フォースプレート



● ローパスフィルタ : ローパスフィルタを使用するかとカットオフ周波数

を指定します

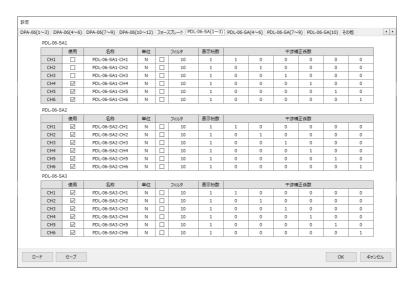
● FP 上面~作用面高(mm) :プレート上面から作用面(COP 算出面)までの距離

を設定します

● COP 算出しきい値[N] : COP 演算を行うために必要な Fz を設定します

● レンジ:フォースプレートのレンジを設定します

## 3 - 6 - 9 PDL-06-SA



● 使用 : 測定するチャンネルを設定します

● 名称 : チャンネル名称を設定します

● 単位 : 工学値の単位を設定します

● フィルタ : フィルタを使用するかとカットオフ周波数を指定します

● 表示桁数 : グラフ表示画面での数値表示の小数点以下桁数を設定します

● 干渉補正係数 : 干渉補正係数を設定します

## ・オンライン計測

ソフトウェアでデバイスを制御して計測を行うモードです。他のワイヤレスデバイス同様、記録周波数 100Hz 以下では PC 保存、500Hz/1kHz では SD 保存となります。PDL-06-SA のみを使用する場合、500Hz/1kHz の記録中でもモニタリング可能です。その場合モニタリングの波形は100Hz で描画されます。他種デバイスと同時に使用する場合、他のワイヤレスデバイス同様に500Hz/1kHz の記録中のモニタリングはできません。

### ・オフライン計測

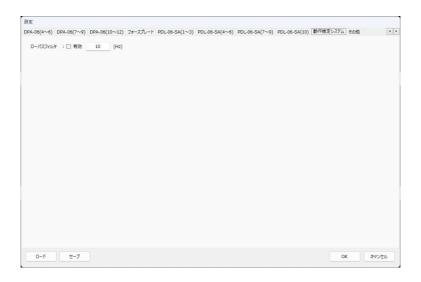
ソフトウェアを使用せずデバイス単体で計測を行うモードです。PDL-06-SA を接続状態で制御 ソフトウェアを終了する際に、現在の設定値をデバイスに書き込みします。

オフライン計測では、記録周波数が 100Hz 以下でも SD 保存します。また、試験条件で「すぐに次のトリガ待ちにする」の設定が有効になっている場合、記録終了後自動的にトリガ待ちに移行します。

オフライン計測は必ず制御ソフトウェアとの接続が切れている状態で行ってください。接続状態でデバイスのボタン操作を行うとエラーになります。

デバイスのボタン操作についてはハードウェア取扱説明書を参照してください。

# 3-6-10 動作推定システム



● ローパスフィルタ :フィルタを使用するかとカットオフ周波数を指定します

# 3-6-11 その他



● [設定の初期化] : 設定を初回インストール時のものに戻します

# 第4章 計測手順

基本的な計測手順は以下のとおりです。

- (1) 使用するデバイスに電源を入れ、ワイヤレスデバイスの場合は USB ドングルの緑 LED が 点灯したことを確認したらソフトウェアを起動します
- (2) ソフトウェアが起動すると、初めに接続処理が開始されます
- (3) 接続処理完了後、並び順設定画面が表示されるので確認し[OK]を押して閉じます
- (4) [設定]ボタンを押して設定画面を表示し、試験条件等を設定し[OK]を押して閉じます
- (5) [モニター]ボタンを押してモニタリングを開始し、測定値に問題がないことを確認します
- (6) [記録開始]ボタンを押して記録を開始します。設定した記録時間が経過して記録停止する のを待つか、[停止]ボタンを押して測定を停止させるかします
- (7) 再度、計測を行う場合は(6)以降の手順を繰り返してください。
- (8) 全ての計測が終われば、ソフトウェアを終了し、デバイスの電源を落としてください。

# 第5章 計測データフォーマット

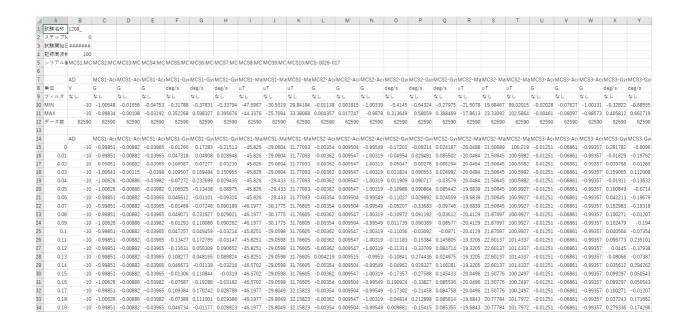
記録したデータは、

ドキュメント > Integrated Measuring System > csv に保存されます。

ファイル名は集録条件で設定した「ファイル名 + ステップ No.(5 桁) + 拡張子(.csv)」となります。

# $\underline{\text{Test}00005.\text{csv}}$

CSV形式でのファイルフォーマットは以下の通りです。



# 

〒611-0033 京都府宇治市大久保町西ノ端 1番22

TEL: 0774-48-2334 FAX: 0774-48-2242

E-mail: eigyo@tecgihan.co.jp http://www.tecgihan.co.jp